



明日からの診療が変わる

WJVF第7回大会

WJVF

2016年7月8日(金) 9日(土) 10日(日)

14:00-21:10 8:50-20:15 8:50-18:10



+



=



WEST JAPAN
VETERINARY FORUM

「1 + 1を3に、そして1 + 1を1（ひとつ）に」

会場

ホテルニューオータニ大阪

(大阪市中心区城見1-4-1)

主催

公益社団法人 日本動物病院協会 (JAHA)

一般社団法人 日本臨床獣医学フォーラム (JBVP)

第7回大会開催にあたり

WJVF大会長・JBVP会長 石田卓夫

獣医師と動物医療従事者の社会における役割とは、単に動物の病気を治し、ワクチンをうって病気を予防するという単純なものではありません。伴侶動物との幸せな暮らしが人間社会に与える有益な影響、そして動物福祉や動物の健康に与える有益な影響を見据えた上で、動物の健康を守り、美しく長い一生を目指す、そしてそのことを通じて人間社会に貢献することがわれわれに課せられた役割です。

人間社会に対する役割は、動物と暮らす人々の心配の解消を通じて直接的に人間の精神的健康を守ることのみならず、動物たちの生命を守り、生活の質を向上させることによって、動物と暮らす（あるいは動物と触れあう）人々の健康、福祉、教育に貢献することです。動物たちには人間に対する大きな力があります。動物たちを守ることで、人間社会にその力を発揮させ、間接的に人間社会を守ること、そして同時に動物を守ること、これが伴侶動物獣医学に携わる獣医師の使命です。

伴侶動物または家庭動物とは、人間の良き仲間、家族、伴侶として、ともに暮らす動物たちで、正しいしつけとマナー、そして獣医学的なケアを受けている動物です。それらの動物は、人と幸せな歴史をもってきたパートナーであり、その動物の習慣や行動はよく分かっており、人との共通の感染症も十分に調べられていて、人間にとっても安全であることがわかっています。そしてその動物に対する獣医学が十分に進歩し、病気の予防、診断、治療に、獣医師が責任を持てることが大切です。

人間と伴侶動物・家庭動物の絆を「ヒューマンアニマルボンド (HAB)」と一般に呼んでいますが、単に絆そのものだけではなく、その絆が人間社会および動物の双方にもたらす影響や意義をも含めることも多いようです。HABとは、人と動物双方の教育、福祉、医療に関わる重大なテーマであり、それが有効に作用した結果、人間も動物も幸せな生活が保証されるというものです。

教育に関しては、動物とのふれあいは子どもの脳の発達、人格形成に重要であるとの認識から、動物介在教育 (AAE) という名称のもと、動物との同居やふれあい教室を通じて、子どもの教育にも動物が利用されるようになってきています。一方で動物に対する教育も、社会の一員としての動物を育てる意味で、動物の社会化、しつけ教室、問題行動の予防と治療などが、伴侶動物医療の一環として行われています。

福祉に関しては、人間の精神的健康を増進する意味で、老人や子どもと動物の同居の推進など、様々な動物介在活動 (AAA) が行われています。一方、動物の福祉に関しては、望まれない妊娠の防止、身よりのない動物に対する新しい家族探しなどが、動物病院を中心に行われています。

医療に関連するHABとしては、医師の参加による動物介在療法 (AAT) が医療現場で行われ、それ以外にも患者の精神的健康を高める目的での動物の利用も医療現場で行われています。さらに、実際の医療に関連して、動物の存在が人間の病気の発生を抑制し、人間の健康寿命を延ばし、医療費削減に貢献できていることがわかっています。動物のための医療は、動物病院の仕事そのものであり、また家族が動物を病院に連れて行くという行為自体は、HABにより裏付けられています。獣医師は、病気の治療を行うだけではなく、より積極的に予防できる病気を予防し、伴侶動物の健康を促進し、伴侶動物に対してベストなことを行うことが責務であると考えられます。

伴侶動物・家庭動物のための医療とは、言い換えればそこに存在する「絆」のための医療です。したがって、病気が単に治れば良いというものでも、単に予防すれば良いというものでもないのです。絆を最良に維持することが大きな目的となります。人と動物の幸せな絆を願う社会のニーズがあるからこそ、HABがあるからこそ、人々は動物病院を利用してくれるのです。したがって、獣医師はそのHABに応える仕事をしなくてはならないのです。

公益社団法人 日本動物病院協会 (JAHA) ならびに一般社団法人 日本臨床獣医学フォーラム (JBVP) の学術活動は、平和な家庭、平和な社会実現のための、より良質な伴侶動物医療の提供を目的としています。そしてWJVF大会は、このような理念を背景に運営されています。獣医療関係者すべての方々は、日々の勉強がこのような崇高な目的を達成するためのステップであることを再認識して、より良質な動物医療に向けて研鑽を積んでください。



WJVF第7回大会JAHA会長挨拶

JAHA会長 細井戸大成



大阪を会場として開催されるWJVF大会は、初夏における獣医師、動物看護師、市民を対象とした有意義で楽しい大会として定着してきました。市民公開講座は、引き続き「人と動物の絆 一緒にいるってこんなに幸せ☆」をテーマに2日間にわたり開催いたします。

市民公開講座の特徴の一つとして、家庭で家族とともに幸せな日々を過ごすワンちゃんたちを実際にプログラムの中で見ていただくことがあります。最近では座学の中でも動画を駆使し、聴講者にわかりやすい情報が提供されています。しかし、家族とともに登場する1頭のワンちゃんを実際に見ることは、どんなに鮮明で精緻な画像よりも、一層人々に感動を与えます。飼い主とワンちゃんがペアで醸し出す幸せオーラを直接感じ取ることができるからではないでしょうか。第7回大会でも、愛犬と飼い主のファッションショー、動物たちとのダンスといったプログラムではワンちゃんたちが飼い主とともに活躍します。その他「パピーケアスタッフ講座紹介」「CAPP活動紹介」「携帯、コンパクトデジタルカメラでの動物の撮り方初級編」「人の表情を読み取る犬の能力」「座談会 猫と暮らす私のひとくふう」「犬のボディランゲージ」といったプログラムを用意してお待ちしています。フォトコンテストも引き続き開催しますので、皆様のご応募をお待ちしています。

老若男女を問わず出来るだけ多くの皆様が、動物という幸せを感じていただくことを心から願っています。

金曜日午後2時から3日間にわたり開催!

卒後継続教育を軸に、参加すると明日からの診療にすぐに役立つ内容のプログラムで構成しています。

WJVF第7回大会 開催日:2016年7月8日(金)9日(土)10日(日) 会場:ホテルニューオータニ大阪

▶ WJVFでしか実現できないプログラムがいっぱい

▶ 恒例になりました少人数制での充実した実習

今年は顕微鏡、歯科、包帯法、縫合、眼科、内視鏡実習を行います。事前登録制ですので参加をご希望の場合は、お早めにお申し込みください。

▶ スペシャリストに聞いてみよう

普通のセミナー中では質問できないことってありませんか? 講師を少人数で囲んで気軽に質問したり教えていただいたりできるプログラムです。

▶ 「症状から診る!」シリーズ

例えば”咳してます”と来院されたら、呼吸器or循環器? どうやって診断しましょう? ~このシリーズは診断学を学べます。(咳、目、下痢・嘔吐、排尿障害...)

▶ 「一歩進んだ」シリーズ

診たことあるけどよく分からなかったあの症例について詳しくなれる絶好のチャンスです! (心嚢水、上皮小体、血小板減少症、尿管結石、攻撃行動、天疱瘡...)

▶ 「今更聞けない基礎からの」シリーズ

わかってそうでわからない、もう一度きちんと理解しましょう。(血液ガス、血液凝固、血圧...)

講師予定 (敬称略、50音順)

2016年1月末日現在

獣医師セッション / 動物看護師セッション

- ▶ 画像診断学 織間博光 / 株式会社 ORM
- ▶ 腫瘍学 林宝謙治 / 埼玉動物医療センター
- ▶ 神経病学 金園晨一 / 埼玉動物医療センター
神志那弘明 / 岐阜大学
- ▶ 軟部外科学 秋吉秀保 / 大阪府立大学
宇根 智 / ネオベッツVRセンター
小出和欣 / 井笠動物医療センター、小出動物病院
進 学之 / しん動物病院
鳥巢至道 / 宮崎大学
生川幹洋 / 三重動物医療センター
- ▶ 整形外科学 川田 睦 / ネオベッツVRセンター
左近允蔵 / 北里大学
樋口雅仁 / ひぐち動物病院、動物整形外科病院
米地謙介 / 奈良動物二次診療クリニック
- ▶ 眼科学 安部勝裕 / アニマルアイケア東京・安部動物病院
小野 啓 / パル動物病院
辻田裕規 / どうぶつ眼科専門クリニック
- ▶ 歯科学 戸田 功 / とだ動物病院 小動物歯科
- ▶ 皮膚病学 伊従慶太 / Vet Derm Tokyo
永田雅彦 / どうぶつの総合病院 皮膚科
- ▶ 内分泌学 竹内和義 / たけうち動物病院
松木直章 / 東京大学

獣医師セッション / 動物看護師セッション

- ▶ 循環器病学 青木卓磨 / 麻布大学
竹村直行 / 日本獣医生命科学大学
藤井洋子 / 麻布大学
- ▶ 呼吸器病学 藤田道郎 / 日本獣医生命科学大学
- ▶ 消化器病学 大野耕一 / 東京大学
亘 敏広 / 日本大学
- ▶ 泌尿器病学 宮川優一 / 日本獣医生命科学大学
- ▶ 麻酔学・リハビリ 佐野忠士 / 酪農学園大学
- ▶ 輸液学 岡野昇三 / 北里大学
- ▶ 薬理学 堀 正敏 / 東京大学
- ▶ 血液学 下田哲也 / 山陽動物医療センター
- ▶ 細胞診 平田雅彦 / アイデックス ラボラトリーズ 株式会社
- ▶ 臨床病理学 皆上大吾 / 日本獣医生命科学大学
石田卓夫 / JBVF会長、赤坂動物病院
小笠原聖悟 / アイデックス ラボラトリーズ 株式会社
- ▶ 動物行動学 入交真巳 / 日本獣医生命科学大学
- ▶ エキゾチックアニマル医療 佐々井浩志 / 北須磨動物病院
- ▶ マネジメント なごみグループ・社会保険労務士法人 和
なごみグループ・税理士法人 和

今後のお知らせ

詳しいタイムテーブルにつきましては、次回アナウンスメント(4月中旬発行予定)およびウェブサイトにて、随時発表いたします。

事前登録お申込み

次回セカンドアナウンスメントがお手元に到着する4月中旬から事前登録を受付開始します。ウェブサイトからもお申込みいただけます。

事前登録 締切

6月17日(金)

公開市民講座

2016年6月18日(土) 19日(日)
松下IMPホール (大阪市中央区城見1-3-7)



● WJVFウェブサイト

<http://www.wjvf.net>



Find us on
Facebook

<https://ja-jp.facebook.com/wjvfosaka>

WJVF第7回大会 運営事務局 (お問合せ先)

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-5 ミサビル2階

TEL 03-6457-8356

FAX 03-3355-6787

e-mail info1@wjvf.net



WJVF
WEST JAPAN
VETERINARY FORUM